

STAND UP TAKE ACTION

貧困根絶とミレニアム開発目標 (MDGs) の達成をめざして、

STAND UP !

STAND UP TAKE ACTION とは、国連機関のパートナーシップの下に実施され、世界中で同時に立ち上がり、行動を起こすキャンペーンです。

昨年は 127 カ国 4371 万人が参加し、ギネス記録を樹立しました。日本からは 5 万人が参加しています。今年は、昨年の記録からの更新を目指しています。

法政大学 MDGs 研究会では、以下のようなプログラムで STAND UP TAKE ACTION に参加します。世界の人々と連携したこの STAND UP TAKE ACTION キャンペーンにぜひご参加ください。

日時：2008 年 10 月 17 日 (金) 13:30~15:00 (公開研究会)
15:00~15:10 (STAND UP !)

場所：法政大学 855 教室

プログラム

I 公開研究会 (13:30~15:00)

- 1 「MDGs についての概要」 土屋仁美(法政大学大学院) (15 分)
- 2 「中国における MDGs の状況」 金丹(法政大学大学院) (15 分)
- 3 「国連グローバル・コンパクト(GC)と MDGs」 菅原絵美(大阪大学大学院) (15 分)
- 4 「オリンパスにおける MDGs についての取り組み」 松崎稔(オリンパス株式会社) (25 分)
 - ・ アフリカにおける取り組み(DVD 上映など)

II STAND UP ! (15:00~15:10)

- ・ 集合写真の撮影と参加人数の確認

* ミレニアム開発目標(MDGs)とは：

2000 年の国連ミレニアム・サミットにおいて 147 の国家元首を含む 189 の加盟国代表によって採択されたミレニアム宣言と 1990 年代の主要な国際会議・サミットで約束された国際的な開発目標を 1 つの共通枠組みとしてまとめたものです。MDGs は 8 つの主要目標からなり、2015 年までに極度の貧困の半減や初等教育の普及などの実現を目指しています。